

長崎県中小企業家同友会 諫早支部
令和4年度 第8回 人を生かす経営 4委員会

2023年 1月 25日(水) 19:00~21:00

出席者/池田、宇土、太田、津田、寺尾、馬場、野方(7名)

〈4委員会の目的〉

この委員会は、同友会が提唱する労使見解、及び会社づくりの考え方を基に、
“選ばれる企業づくり”の推進を図る委員会である。

1. 開会宣言 寺尾

議事録作成人/寺尾

2. 出席者確認

3. 担当月委員長あいさつ

4. 「労使見解」の理解を深める

共に育つ1 P44~P47「経営指針と就業規則の関係」

※一人3分程度で感想や学んだこと

「経営活動は社会教育に通ずる」の理解を深める

共に育つ P47~P50 を読んでの感想

馬場さん 30年前に同友会でやっていたことに驚き、社員とともに道は開ける

大和さん 日本人の教育・マナーや言葉遣いが昔からしたらかなり変わってきた

人のしつけを会社がしないといけない。同友会の考えは大事で、人の立場にな
って考える

池田さん 北海道同友会の先進的な考え、経営者が研修を受け社員に伝える

若者にも受け入れる研修グループで社員である必要がある

津田さん 同友会の理念に沿って自分も理念に沿って意識して参加していきたい

理念を浸透させて。社員に受け入れたい

次回は共に育つ2

5. 各委員会報告

経営労働委員会

別紙にて報告

ダイバーシティ委員会

別紙にて報告

共育・共同求人委員会 別紙にて報告

情報広報委員会

2月16日 iPadの勉強会の準備中
広報誌は今電子版にリニューアル中
HPコンペは池田さんのとこだけ

6. 前回までの議事から引き続き

1月12日(木) 経営者塾 インボイス、電子帳簿保存法について②
津田さんに質問する会 開催 19:00~21:00

感想

- ・インボイスについて勉強を謙遜していたが参加してよくわかった
- ・インボイスの前に消費税が8%、10%になっただけで会計事務が大変だったのに次はインボイスなので大変になりそう。番号取得中
- ・前回も参加して今回も確認で参加した、自社でもインボイスを協力会社4名に説明を行った、インボイスにするか考えている方迷ってる方がいる

(開催決定の勉強会)

3月10日(金) メタバース勉強会 出島支部/株アドミン浦崎会員

4月21日(金) 企業変革プログラムII

大村支部/宇土経営コンサルタント事務所 宇土会員

(その他候補)

- ・認証制度(長崎県SDG's取得、Nぴかの勉強会)⇒タイミングをみてから
- ・BCP(事業継続計画)⇒県と足並みをそろえてから実施
- ・企業型改定拠出年金制度の勉強会
- ・SNSマーケティング戦略(松田さん、池田さん、金田さん)⇒いつでも実施OK
- ・SNSのマーケティング(仲間づくり委員会の続きTANOくん)
- ・インボイス制度勉強会(第3回目)
- ・エクセルの勉強会(ショートカットなど)
- ・野方さんが富建で行っているインターンシップの話

「新入会員オリエンテーション」について

今未定

1月18日（水）諫早支部例会 共育・共同求人委員会担当例会について

感想

- ・テレワークが主体でインターンシップは難しいですが将来的に店舗を構えたらやりたい学生、大学生に自社をアピールできる
- ・小さい会社でインターンシップは考えたことはなかったが、意識を改革し自分で考えを変えていかなくてはいけないと思った
- ・県外の学生をインターンで呼べたら、県外の学生を引っ張る
長崎出身の県外の大学生は長崎に帰ってきたいと思っている人もいるが
なかなか会社の存在をしらない。関東の大学生は就職する場所はどこでもいいと思っている

7. その他情報交換

2月15日 共育委員会

新入社員フォローアップ研修5回目

ライフラインについて

情報広報委員会

県のHPリニューアルの説明会を開催したい

8. 閉会宣言

津田さん

お疲れ様でした

毎月経営者塾の動きがあって楽しみ

スタートが4委員会だったので勉強会を全県に発信していきたいです

本日はお疲れ様でした

委員会には **①2022年度活動のしおり** **②人を生かす経営（労使見解）**を持参下さい

参加者：8名

委員長(2022年度)

委員長	副委員長	副委員長	長崎浦上	長崎出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松	五島
宇土	平野	原田	西岡	榮	永野	三宅	高原	横山		
○	○		○	○				○		

副委員長

長崎浦上	長崎出島		大村	諫早		島原	佐世保			北松	五島
吉澤	濱口	横田	濱田	菅	中尾	池田	竹内	村上	山本		
×					×		×	×	×		

副代表	ビジョン	諫早	事務局
金田	佐藤	寺尾	田口
○		○	○

議事録 ー 佐世保支部 横山会員

(議 題)

※「**労使見解**」勉強 No.5 労使における新しい課題

- ・宇土委員長より、労働者の職場選択の最大の要素として、「やりがいのある仕事」が第一位にランクされている。労働者の雇用の促進、定着性を鑑みて、非常に大切な事である。

1. 委員長挨拶

- ・今期の委員会も残り2回。本日は第2回中同協経営労働委員会の報告が中心。3月の委員会は1年間の活動の振り返りを行い、平野さんへバトンタッチをしたい。
- ・長崎同友会としても経営指針の必要性を説明しながら、一人でも多くの方に作ってもらえるよう、活動を行ってきたが、なかなか難しかった。経営指針の必要性について、一人でも多くの方に理解してもらう為には4委員会が個別の動きでなく、連携、協力しながら進めなければならない。

今期の今後の活動について

1. 経営者塾の開催 目標 10 講座 実施済 11 講座
 開催済 : 県① 諫早⑤ 佐世保⑤
 開催予定 : 県① 諫早② 島原①
 佐世保①
2. 今回の議事
 1. 各支部の状況 (委員会活動、4委員会活動、経営者塾、その他)
 - ・長崎浦上 (経営者塾)
 - ・3月例会で共同求人、4委員会の共催で学生のインターシップ、新入会員のオリエンテーションをテーマに開催予定。
 - ・長崎出島 (経営者塾)
 - ・委員会、4委員会特になし。2月予定していた経営者塾も中止となった。
 - ・大村

(経営者塾)

・諫早

(経営者塾) ①インボイス勉強会、②デジタル化勉強会、③インボイス勉強会2、
今後 ①メタバース勉強会

- ・来月、I p a d 勉強会を予定 (出島支部：浦崎会員)
- ・諫早支部では委員会、4委員会の冒頭に人を生かす経営の読み合わせを行い、参加者全員で感想を言いあい、共に育つ環境を作っている。
- ・経営者塾については、4委員会等で日程、テーマ、会場等を話し合い、フットワーク軽く経営者塾を開催している。

・島原

(経営者塾) 今後 ローカルベンチマーク・経営デザインシート勉強会

- ・2月22日 経営デザインシートについての経営者塾開催予定。テーマ経営デザインシート、講師は宇土委員長。

・佐世保

(経営者塾) ①With コロナ勉強会 14名、②財務勉強会 11名、③労使見解 10名
④経営計画書策定事前勉強会 8名、⑤経営計画書策定セミナー

今後 ①企業変革支援プログラム Yer2、

- ・今期、企業変革支援プログラムの経営者塾が残っているが、開催日等については、未定。今後、橋口4委員会相談役、宇土委員長と打合せをさせて頂きたい。

2. 経営指針アンケートについて

・現状 63.5% (前回 9/27 62.8%)

⇒ 今期最初の会員リストを配布する

- ・事務局より報告
- ・各支部委員長は責任をもって回収する。

但し、現状を考慮すると早急な対応は困難と考え、今期も100%になるまで行う

回答状況は下記参照

<https://nagasaki.e-doyu.jp/s.survey/summary.html?appid=605&vSelId=11185>

- ・平野副委員長より、佐世保支部の動向についてお尋ねがあるも、現在、本件の動きが出来ておらず、今後、未回答者について横山が確認し事務局へ報告する形を取り、未回答者数を減らす。あと、役員会、例会で未回答者の会員さんへ回答をお願いする。

3. 今期の「県主催 経営者塾 (経営労働)」について

・経営指針実践セミナー (第3期) について ⇒ 第5回終了 5名+ゲスト 名/7名申込

・経営者塾：開催済 9月①経営者のために必要な資金繰りを考える ⇒ 14名参加 終了
開催予定 2月②企業変革支援プログラム Ver. 2 説明会

- ・2月13日 (月) 19:00～シーハット大村にて、企業変革支援プログラム2説明会開催予定。

4. 2022年度第2回中同協経営労働委員会 報告

内容については別紙資料参照

・企業変革支援プログラム Ver.の開発経緯、ポイントの説明があったので支部委員長向け
+希望会員に勉強会を2月上旬に開催し、伝えていく

(第一部)

- ・2023 第8回経営労働問題全国交流会 (山口) (開催日、8月31日～9月1日)
- ・2025 第9回経営労働問題全国交流会 (茨城県が立候補し承認。)

(第二部) 学習会

- ・報告①「新しい資本主義」と「人を生かす経営」の大切さ

講師／藤岡 資正氏 明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究所専任教授
チュラロコン大学サシン経営大学院日本センター所長
名古屋商科大学ビジネススクール客員教授
早稲田大学ビジネススクール客員教授

- ・宇土委員長より、ポイントとして、コロナ禍では、生存のために必要な知を組織がいかに生み出していくのが大切になってくる。「社会的に認められる価値」をつくること。社会的な価値があるか、顧客（社会）が主観的に判断する性質のものである。自分のため、自分の企業だけではなく、仲間のため、地域のため、(国や地域とともに歩む中小企業)、「人間尊重の経営」、「労使見解」、「共に育つ」など、同友会の理念が重要となる。

- ・報告②労働環境をとりまく構造変化を学び、今後の取組を考える。

講師／山根木晴久氏 連合 副事務局長

グループ討論テーマ

- ① 報告を聞いて、あるいは、あなたの身の回りで、どのような変化があると感じていますか？その変化をどのように受け止めていますか？
 - ② 社会の変化を受けて、労使見解を力に地域をゆるがすような社会づくりや同友会づくりをどのようにしていきますか？
- ・宇土委員長より、連合から中同協会議への参加は初。これまでは、地域に必要とされる等の表現が一般的であったが、ゆるがすとの表現が使われていた。

- ・2023年1月 中同協経営労働委員会 林委員長開会あいさつより

宇土委員長より

- ① 経営環境の変化ふまえ今後の同友会運動を展望「日本は本当によくなっているか」について
 - ・広浜会長の「あいさつ」で「経営の根幹を揺るがす厳しい外部環境の変化が続く」「こんなときこそ同友会」と学びと実践の重要性を強調。宮崎本店宮崎氏は、「いつの時代も維持・発展していくという企業は法律に救われなくても生きていけるはず。それをめざすためには、高い次元での発想の転換が必要」とし、企業変革支援プログラムに基づく自己改革と経営指針の重要性を語っているということ。
 - ② 知恵と工夫を発揮して、新しい企業変革支援プログラムの積極活用の推進について
 - ・従来の5つのカテゴリから6つになるなど新しい視点が提起されたこと。「実践例、考えられる取組の事例例」でアウトプットで具体的に評価する内容が変わった。
 - ③ 労使関係の3. 労使関係の今日的課題について
 - ・今年の春闘は5%要求も話題になっており、10月の最賃引上げも同様の水準の可能性を想定しておく必要がある。
 - ・「働く環境づくり強化月間」の課題は、①36協定を作成し、社員と協議して労働基準署に提出すること。②社員とともに働く環境、就業規則をみなおすこと、この二つを課題にしており、法改正対策だけに追われることなく、自らの課題として働く環境づくりに取り組む企業づくり、労使見解が大切ということ。
 - ④ 「増強する経営労働委員会」になろうについて
 - ・「4委員会連携」がトレンドになりつつある。なお加えて、組織委員会との連携ということも話題になっている。同友会運動の、仲間づくり、入会後の会員定着などを考えると、組織委員会とも連携して同友会づくり運動を推進することも役割の一つということ。
- ・中同協第55回定時総会議案一骨子（案）についての概要説明
 - ・2023年度国の政策に対する中小企業家の重点要望・提言についての概要説明
 - ・働く環境づくり強化月間（2月～3月）についての概要説明
 - ① 毎年36協定の届出をする。
 - ② 社員とともに就業規則を見直す。
 - ③ 2023年4月以降、月60時間超の残業割増賃金率が50%に引き上げられます。

- ・山根木連合副事務局長パワポ資料より、宇土委員長より説明。

- ① 雇用形態別の働き方（契約）の変化について

非正規雇用労働者の労働環境条件が能力開発△、一時金△、通勤費補助△、退職金△、労災保険、社会保険△正社員の労働者と違いがある。

② 連合プラットフォーム（愛称：笑顔と元気のプラットフォーム）の概要説明

③ 2023年度活動（案）

(1) 笑顔と元気のプラットフォームを活用し、中小企業の経営基盤強化と地域活性化を進めるとともに、中小企業振興基本条例の制定に向けた取り組みを行う。

(2) 中小企業を支える経営諸団体と日常的な連携を深め、情報を共有するとともに、労使が抱える共通の課題などへの対策について取組を進める。

◇具体的には、中小企業振興基本条例の制定に向けた取組を前進させることを目的とした、ブロック単位での学習会を計画。条例背景の取組を進めるためには、「笑顔と元気のプラットフォーム」を通じた、諸団体との連携が不可欠。

・企業変革支援プログラムVer. 2 三つの意義と三つの特徴についての説明

① 企業変革支援プログラムは、自社の状態を定量的・定性的に把握することが重要。その上で、現在の課題を整理、分析し、その課題を克服するために必要な変革課題を明確にすることが必要。そのための有効なツールとしてまとめられているもの。

② 同友会運動の発展のためにも、e. doyu 上での毎年のセルフアセスメント登録は、その裏付けになる。支部の例会でも取り上げ、今後の地域づくりや政策活動にも積極的に活用して欲しい。

・「山形同友会経営指針をつくる会及び企業変革支援プログラム活用事例報告」について

・山形同友会では、入会3年間経営指針をつくる会に関わる。経営指針委員会運営に助言、先輩経営者として関り、3年経過した時点で委員会を卒業できる権利を取得する。過去3期の修了生が集まり「経営指針を見せる会」を開催し経営指針書の更新状況、実践状況、現状の課題など作成した指針書を見せ合う場を作り、同時期でのアドバイスや私的をしてもらいブラッシュアップができる仕組みを構築している。

5. その他

・金田副代表より

・山形の代表理事の方より、経営指針をつくる会についてお話をお伺いしたことがあった。新入会員さんに3年間継続して、勉強会に参加してもらい、経営指針の重要性を学ぶ。また、その場でパソコンを見せてもらったが、企業変革支援プログラムCK項目を入れておられ、有効に活用されていた。

・4委員会活動について

・語り部の良い名称があればご連絡をお願いします。

・事務局より

・宇土委員長、平野副委員長 2022年度第2回中同協経営労働委員会時の領収書の提出依頼。
・来期も中同協主催の経営労働委員会については、委員長他1名で予算をお願いする予定。

・平野副委員長より

・中同協の経営労働委員会に参加してみて、難しい、伝えたい所をどのように伝えるかが難しい。
・他県は6名程参加している所もあったので、理解者を増やしていく為にも、代表理事にも呼び掛けて参加者を増やしたい。
・同友会からの国の政策に対する中小企業家の重点要望、提言の内容が具体的で分かりやすい。

5. 今期の委員会予定

~~第1回 4月21日：1年間の活動の方針~~

~~第2回 7月29日：中同協 第54回 定時総会 in 沖縄~~

~~第3回 9月27日：中同協 第1回 全国経営労働委員会 報告~~

~~第4回 11月29日：中同協 第7回 人を生かす経営全国交流会 in 徳島 参加報告~~

第5回 1月26日： 中同協 第2回 全国経営労働委員会 報告
第6回 3月23日： 1年間の活動の振り返り

日時：2023年1月30日 19:00~20:50

場所：Web

参加者：7名（敬称略）

野方、山本、河原、時、寺尾、峰、得田（議事録作成）

1) 委員長挨拶

- ・インターンシップの概念が浸透してきている。継続的にやっていきたい。
- ・福岡の九産大を訪問したが、学生の求職要望がある。今後は他県の同友会とのつながりで県外の大学への声掛けを検討してみてもどうかと思う。

2) 2022年度の活動整理

各自感想、気づき、来期に向けての課題確認
大学との取り組みへのアイデア出し（総科大授業参加促進方法）

（各自感想など）

- ・目的をはっきりさせて全員に声をかけるなど、事前の準備や優先順位付けが必要。（山本）
- ・例会に参加してもらい会員との触れ合う機会があると、取り組みへのハードルが下がると思う。（河原）
- ・諫早支部では産学連携委員会がある。来期は総科大の山口さんとも進め方を相談していきたい。（峰）
- ・委員会の報告例会としたりいいが、参加者をいかに集めるかが課題になる。（野方）
- ・支部例会の場で南山高校などの事例を紹介して、委員会報告例会を年に2、3回開催するのもいいのでは。（寺尾）
- ・支部例会にしたことで気づきを与えられたなどの意味はあったと思う。（時）
- ・同じ意見。自社の魅力は何かを改めて考える機会になったと思う。（得田）
- ・委員会報告例会はやってみる価値はある。（寺尾）
- ・アナウンスに工夫が必要。例えば、「若者の考え方をいっしょに勉強してみませんか？」とすると参加者が増えるのでは。（山本）
- ・言葉の力があり、声掛けなどのアピールの仕方で参加者を増やしたい。早めの取り組みを考えたほうがいいと思う。（河原）
- ・次のステップとしては、「人口減少、若者を地域に残す」などの危機感としても委員会報告例会でもいいと思う。（時）
- ・ダイバーシティも同じ。障がい者雇用とは何か？など支部の目標も決めて取り組んでいる。総科大などの学校を巻き込んで学校全体として取り組むと、点が千二なるのでは。山口さんに引き続き協力してもらえればと思う。（峰）
- ・山口さんだけの例会報告もありと思う。（寺尾）
- ・総科大の池田学長とも話したが、もっと同友会に対する理解を深めてもらおうと、点が線になると思う。（野方）
- ・準備が大変なので、多くの人に参加してもらい負担を減らす。例えば事務局といっしょに資料を作成するなど。（山本）
- ・NびかやSDGs認証への取り組みではパワポなどでの資料作りもあり、経験する良い機会になる。（得田）
- ・次のステップでは、これらの意見を踏まえて支部例会と委員会報告例会を効果的に開催する方向としましょう。（野方）

（各支部内の活動状況共有）

- ・県委員会と一貫性をもって進めた。大村は自衛隊もあり、退役自衛官採用などへの独自活動への要求がある。（得田）
- ・地元に戻ってくる生徒の受け皿として、高校の進路指導との連携が必要と感じている。（河原）
- ・県委員会の施策を展開して単独ではやっていない。（時）
- ・長崎市内の学校が対象だったので、県委員会の施策を展開して単独ではやっていない。（山本）
- ・県の永原さんとも相談してエリア内での高校とのパイプ作りを進めていきたい。（峰）

（その他意見）

- ・進路指導の先生たちとつながっていくのが大事なので、活動していきたいと思う。（寺尾）
- ・学校訪問では紹介パンフレットが必要。（時）
- ・「tomoni nagasaki」などのインスタに取り組んだ経緯がある。（峰）
- ・既にインスタに取り組んでいる企業もあり、うまく確立できなかった。（野方）
- ・ジョブウェイの活用状況はどうなのか？（河原）→あくまで求人サイト。有料でもあり活用されていない。（峰）
- ・外部へ紹介する必要がある。採用のマッチング情報があればベターだが、まずは関係性を持つことが必要。2年前に会員へ新卒の採用予定をアンケートしており、学校側は求人情報を求めているのが実態でもある。（野方）
- ・アンケートは実施して、定点観測を行っていきたい。（峰）

3) 4委員会関連

3-1) 人を生かす経営全国交流会

- ・来期の4委員長が揃ってから開始したい。（峰）
- ・2/7にオンライン参加して議論予定。（峰）

3-2) 語り部への道（仮称）プロジェクト

- ・先週土曜日に委員会を開催し、たたき台を作成した。「DOYU×QUEST」と題して、地図を旅して学んでいくイメージに仕
上げている。(峰)
- ・入り口としてはいいが、年配の会員には取りつきにくいのでは。
- ・分かりやすいので、HPリニューアルに合わせて導入すると思う。

4) その他

4-1) 2023 年度の体制について (各支部来期委員長の確認)

- ・出島、島原、大村支部は委員長交代予定

4-2) 高校との意見交換会について

4-3) 中同協

- ・共同求人委員会：2月10日(金)・東京(※合同例会の日程と重複)

4-4) 各種認証制度勉強会(確認のみ)

→共同求人委員会主催経営者塾として大学との取り組みに注力したいので、認証制度の勉強会は追々考えていく。

5) 閉会挨拶

- ・来期に向けて、有意義な意見交換ができた。委員会の活動を知ってもらい、副委員長にも参加してもらいたい。(寺尾)

次回開催日

2月21日(火)

以上

2022年度 第8回 共育委員会 議事録

日時/1月25日(水) 19:00~20:30 会場/事務局・Web会議 (Zoom)

司会: 佐世保

※出席者確認

委員長: 山崎 副委員長: 齊藤、時、朝永 前委員長: 松本

担当副代表理事: 金田 ビジョン委員長: 佐藤 ビジョン委員: 平川 事務局: 田口

長崎浦上	長崎出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島
齊藤 (○)	山崎 (○)	高倉 (○)	時 (○)	平野 (○)	朝永 (×)		
橋本 (○)	園田 (×)	中山 (×)	野方 (×)	寺田 (×)	石丸 (×)		
松本 (×)	成瀬 (×)	佐藤 (○)	植杉 (×)	末永 (×)	永吉 (×)		
			金田 (×)	平川 (×)	山崎 (×)		
			寺尾 (×)		橋口 (×)		
橋本 (○)	本多 (×)	高瀬 (×)	廣谷 (×)	中山 (×)	片桐 (×)	松瀬 (×)	設楽 (×)

※議事録作成確認→長崎浦上支部

黒文字 議事変更なし、赤文字 変更・追加事項

1 委員長挨拶

昨日今日とても寒く、皆さんの会社は影響ありませんか? 本日中同協・経営労働委員会に参加しています。
来季に向けて共育・経営労働委員会との連携を図りたい。

2 2/15(水) 2022年度 第4回 新入社員フォローアップ研修について - 添付資料あり

【決定事項】

会場: プラット大村に決定、

・大村支部の高倉さんから入社式の際の「社会人の抱負の発表をもとに」講話 20分

合同入社式以降、新入社員研修に約6~7割が参加している。

第4回に参加者名を知りたい(田口さん⇒高倉さん 1/31までに連絡)、

色紙に関して一年間の思いを一人一人に一言もらう+高倉さんの講話含め20分で行う

・新入社員からライフライン・理念の発表

・司会: 平野さん 開会挨拶: 山崎さん 閉会挨拶(講話含む): 高倉さん

・当日、最初のフォローアップ研修で記入した色紙を用意する

・朝永さんはエイコー商事さんで参加、~~エイコー商事中村さんより~~、エイコー商事社員さん会場参加に変更

・原則、昼食交流会まで参加いただく

・ビデオメッセージを実施

3 (来期について①) 2023年度 合同入社式について - 添付資料あり

【決定事項】 2月以降 e-doyu で案内

・日時...4/3(月) 4時~16時

・会場...L & L ホテルセンリュウ・Web 併用

・内容...記念講演・新入社員 自己紹介及び社会人宣言

・記念講演講話者...中村代表理事

・会費...3,000円

【検討・確認事項】

・司会齊藤・開会あいさつ山崎委員長・閉会あいさつ友永さん

4 (来期について②) 2023 年度 新入社員フォローアップ研修について

【検討・確認事項】

- ・ 場所…県央（諫早または大村）及び Web 併用 できればリアルで開催したい
- ・ 日程…年 4 回（6/21（水） 8/23（水） 11/8（水） 2/14（水）） ※合同開催なし
 - ・ 4 回のうち 2 回程度は現地参加限定の内容に変更しては？
コミュニケーション研修で積み木を利用する内容（伝え方の研修）など
- ・ 時間帯…午前（10:00～12:00）※食事込みで 13 時まで
- ・ 内容…講話+ディスカッション・コミュニケーション研修（自社で取り組む宿題を出す）
 - ・ 今年まで松本さんに依頼していた講話が可能なら来期も実施、難しそうなら内容の変更も視野に
- ・ 参加費…1,000 円
 - 今後の中心となる内容は？（意見・提案）
 - ・ 松本さんのコミュニケーション研修？講話+グループディスカッション？
 - ・ 社員教育大学との内容を精査し、並行して計画しては？
 - ・ テーマは同じでも、新入社員研修・社員教育大学では話の内容も異なってくるので、次回委員会で審議

5 (来期について③) 社員共育大学（仮称）について－添付資料あり

【検討・確認事項】

- ・ 名称について要検討
 - ・ 次回委員会までに名称の意見を LINE でもらう、解りやすい・理解しやすい名称は？
 - ・ 中堅社員の意味合いは？何年目？何歳まで？
- ・ 日程・時間帯…年に何回行うか？平日か土日か？午前？午後？就業後？ 参加会員にアンケート実施
- ・ 内容…岡山と同様でよいか？
- ・ 参加費…会場費と参加人数によって異なるが、
 - ・ 新入社員研修を参考：1 回 1,000 円、岡山形式：全 8 回でいくらの一括徴収
 - ・ 講話者は共育委員会メンバーで固定せずに、いろんな方に依頼してみる各参加企業の会員さんに、会議（企画）・研修・講話と参加していただくことを各支部でお願いしてみる
 - それを踏まえて正副委員長でたたき台を作り、次回委員会で再検討・骨子を作る
 - ・ 本日の 3 役会で検討中、承認されれば決定
 - ・ 講師候補 浦上・吉澤さん、出島・土井さん、諫早・平湯さん、島原・敷島さん、大村・金平さん、佐世保・村上さん橋口さんなど。新入社員研修に参加させいる会員さんであれば尚よし

7 その他・意見交換

- ・ グループディスカッションの際、岡山方式（社員教育大学）は一切口出ししないが長崎方式はどうするか？
- ・ 新入社員研修は委員がサポートする、1 回目にはしっかりグループディスカッションとは？を落とし込む。
- ・ 活動報告・来期活動方針（案）について
 - ・ 異議なし
- ・ 人を生かす経営 4 委員会について
 - ・ 語り部への道が一進一退、今後小グループで深掘りする。2/3 会議で再検討、名称は「語り部への道」確定
- ・ 中同協社員教育委員会について
 - ・ 外部に分かちやすく「教育」で表記。3/7、2022 年度第 2 回中同協社員教育委員会のご案内（リアル開催のみ）

・1/27 賀詞交換会にて、山崎委員長・時副委員長が、来賓・会員に向けて合同入社式・新入社員フォローアップ研修等の、委員会活動のアピールを行う

・各支部の取り組みについて

長崎浦上支部…3月例会と合同開催、新入会員オリエンテーション用委員会ごとのオリジナルスライド作成、会員のこれまでの役員経験のデータベース作成、新入会員さん向けにこの悩みはこの人に聞け！を作成など今後役員会で検討

長崎出島支部…4委員会での活動が停止中、経営者塾は2月は休み、ダイバーシティ例会で大村支部野中会員に依頼

大村支部…現在あまり機能指定していない、イバーシティ例会で大村支部野中会員の報告に参加

諫早支部…「共に育つ」を事前に読み、感想を言い合う、経営者塾を開催（インボイスセミナーなど）経営変革プログラム Ver.2 を活用した勉強会を行いたい

島原支部 …共育委員会の告知を強化、4委員会・役員会で発信、経営労働・共育との連携を図る、フォーラムの影響で、島原支部自体の活動が活性化している

佐世保支部…役員会で新入社員研修や共育委員会の活動を報告、合同入社式・フォローアップ研修の参加呼びかけ、コロナ前まで開催していた支部の勉強会を再開したい

北松浦支部…

五島支部…

8 決議事項確認

9 次回開催日程確認 3/1 19時～

10 閉会

皆さん、本日もお疲れ様でした！ 2/15 フォローアップ研修、よろしくお願いいたします！

長崎県中小企業家同友会 2023 年 1 月ダイバーシティ委員会 議事録

日時／1月23日(月) 19:00~20:10 Zoom

1. 開会宣言・議事録作成人指名

司会 飯田

議事録作成 田口

2. 出席者確認

委員長：梶原(○)、(副委員長：本澤、太田、飯田、綿川) 4委員会担当班 寺尾(○)

代表理事：中村(○) 担当副代表理事：金田(○) アドバイザー：宮田正(○)

県ビジョン委員長：佐藤(×) 事務局：田口(○)

長崎浦上	長崎出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島
横山(○)		本澤(○)	太田(○)	飯田(○)	綿川(×)	宮田京(×)	
西村(×)	菅原(×)	一ノ瀬(×)	森(×)	野内(×)	西頭(×)		
町田(×)	山口(×)	堤(×)	張本(×)				
橋本(×)	本多(○)	高瀬(×)	廣谷(×)	中山(×)	片桐(×)	松瀬(×)	設楽(×)

参加 11 名

3. 委員長挨拶

今月、諫早支部の産学連携委員会に参加しました。長崎県の人口減少ということで地域起こし隊を入れて人を呼ぼうという施策について話がありました。鎮西学院大学の先生から人口減についてずっと話をしているが、今いる人口で考えないといけないのでは話がありました。我々ダイバーシティ委員会は今いる人口でどのように活動・経営していくかを考えており、今までの活動を振り返りよかったですと感じました。

4. ダイバーシティ委員会例会準備について

1月16日 シミュレーション

(本澤さん) 1/16に野中会員のシミュレーションをしました。報告の最後の10分に虹の原の卒業生と工場長と3人で話をしたいということでした。シミュレーションでは心配があるということでしたので一度工場長と話をします。次回は1/30に再びシミュレーションをします。同友会のダイバーシティ委員会の歴史も踏まえながらの報告になります。目標に向けご協力をお願いします。

(梶原委員長) ダイバーシティ委員会が大村で始まった話など、再度確認することになりました。懸念することはパニックなどないか心配でそこを確認して欲しいとお願いしました。

(飯田さん) 卒業生が登壇されるということでいい意味での意外性を感じました。

(本澤さん) 添付資料の式次第と司会原稿確認ください。横山さんスローガンお願いします。

グループディスカッションテーマとして「自社におけるダイバーシティ経営の可能性を考える」に決定

5. 甲斐会員からの提案(勉強会)

JETORO 高度外国人材活用についての勉強会について

(梶原委員長) 3月9日開催の予定です。ダイバーシティ委員会・共同求人委員会・青年経営者会合同で行います。

(本多支部長) 専門性が強いと思いますがどの業種でも参加可能でしょうか？

(梶原委員長) どの業種でも参加可能です。

6. 5・6月の現場実習に向けたアンケートの実施について

(田口より資料の説明)

(中村代表) Q6のハローワークに共有はハローワークからじゃんじゃん連絡がきてしまい会員の方は嫌になるのでは。

(太田さん) 一度諫早のハローワークさんと一緒になった時に情報共有できるといろいろと取り組みできるので

はという話もあり、事務局 田口さんに相談しました。

(事務局) 今後、情報共有をとった時に動けるように「ハローワーク他」と追記をしました。

(中村代表) ハローワークを入れるのはどうかと思う。すべての支部の管轄のハローワークと連携をとれるようになったならいいと思うが、今回ハローワークに情報共有といきなり記載をすると分からない方もおり、アンケートの回答も減るのではないのでしょうか。

(飯田さん) ハローワークと記載すると説明が難しいなと感じました。

(梶原委員長) ほかによい表記の仕方はありませんか？

(田口) まずは「ハローワーク等」に共有を表記せずに諫早は必要に応じて個別に声をかけて、広がりがあれば今後県として検討してはどうでしょうか。まずはアンケート数を増やすこと、迷いがないように今回は「ハローワーク等」を消してアンケートを実施してはどうでしょうか。

(寺尾さん)

諫早としてアンケートは独自の動きもあるが県に足並みそろえてと思います。

(宮田正一さん)

工夫してアンケート実施していますが、どれくらいが実習に結びついているか把握する必要があると思います。

(結論として)

今回は Q6 の「ハローワーク他」を削除してアンケートを実施

7. 各支部活動報告

・浦上支部 (横山さん)

◆1/10 (火) 浦上支部役員会にて 2/1 (金) の 第18回ダイバーシティ委員会例会の案内告知。浦上支部は6名の参加要請。

◆ 1/16 月 第18回ダイバーシティ委員会例会 シミュレーションに参加。

- ・ 障害者雇用に至る経緯が分かりやすく、実践的な報告です。
- ・ 今回、実際に雇用した社員さんも会場にて報告されるということでした。
- ・ 1/30(月) に最終シミュレーションを実施予定。

◆ 1/20(金) 4 委員会

- ・ 3月支部例会と新入会員オリエンテーションを共催することに決定。
- ・ 吉澤会員のインターンシップの受入れ報告で例会を体験してもらう。
- ・ 各委員会活動のスライド等を使用し、より具体的な紹介・報告をする。

・出島支部 (本多支部長)

出島支部は1月19日ダイバーシティ委員会担当例会で例会を行いました。下釜会員にダイバーシティ経営・雇用について報告いただきました梶原委員長、飯田さん、寺尾さんにご出席いただきグループ長まで引き受けて頂き感謝致しております。54名と多くの方に参加いただきました。来期は積極的に活動できるように引き継いでいきます。2/1の例会の動員頑張ります。

・大村支部 (本澤さん)

【活動報告事項】

● 2月 DS 例会 野中会員報告について

◎ 報告テーマ

「木工所が挑むダイバーシティ経営～有限会社野中木工所の取り組み～」

◎ 開催日時

令和5年2月1日

◎ 開催場所

プラット大村 大会議室 B

懇親会：taberunaCOCO から

◎ シミュレーション

1回目 令和5年1月16日 WEBにて開催

2回目 令和5年1月30日 WEBにて開催予定

● 3月大村支部例会報告について

◎ 報告者

社会福祉法人鞍手ゆたか福祉会ゆたかカレッジ長崎キャンパス 山田郁美会員

◎ 報告テーマ

「自立とは、自己実現にチャレンジできること」

◎ 開催日時

令和5年3月16日

◎ 概略コメント

自立とは、何でしょう？

自立という言葉は、言う人によって都合のいいように解釈される場合も多いです。

私が思う自立とは、毎日の暮らしを時には他人の手も借りながら、そして手に届くたくさんの選択肢の中から悩みながら必要と思う事を選び取れる事。また、失敗してもそこから学び自分の人生を築いていく事。

障がいを持たれている方々も、日々、自立を目指し、自己実現にチャレンジされています。

「働きたい」という思いを「支えたい」。長崎キャンパスでの支援状況や、企業様との定着支援、利用者様から学ぶことなどを盛り込みながら報告させていただきたいと思います。

◎ シミュレーション

1回目 令和5年2月28日 WEBにて

2回目 令和5年3月8日 WEBにて

以上御確認の程よろしくお願いいたします。

・諫早支部（太田会員）

ダイバーシティ委員会

○ハローワーク諫早の統括職業指導官 益富さまと連絡。障がい者の中途採用の実習受け入れについて話し合い。

諫早支部の実習受け入れ可能企業に声かけをしてみる。

⇒「実習受け入れをしたい会員企業」5社に確認、情報を共有する。

諫早支部活動

○1月10日 1月支部役員会

○1月18日 1月支部例会

※第18回ダイバーシティ委員会例会の参加のお知らせ

4委員会

○1月25日 4委員会開催予定

4委員会主催の勉強会

○1月12日(木) 経営者塾 インボイス、電子帳簿保存法について②

津田さんに質問する会 開催 19:00~21:00

○2月13日(木) iPad勉強会（情報広報委員会合同開催）講師；池田慎さん、上野雄大さん

○3月10日(金) メタバース勉強会 出島支部/株アドミン浦崎会員

・島原支部（飯田さん）

1月10日 役員会

新入会員のオリエンテーションを検討。
また、来期の人事についての話し合いも行った。

1月17日 支部例会

報告者 平川製麺の平川会員

多数のゲスト参加もあり、その場で二名の入会につながった。

現在、2月のダイバーシティ委員会例会と仲間づくり委員会例会の案内と出席促進を図っています。

余談になりますが、12月に支部例会において小林甚製麺さんがインターンシップについて報告されました。その際に一緒に報告された大学生(一名)が、支部会員の会社見学に行かれています。弊社にも明後日来られる予定ですので、若い世代の考えや企業に求めること等を尋ねてみたいと思います。

- ・佐世保支部
- ・北松浦支部
- ・五島支部

8. その他・意見交換

・(梶原委員長) 3/16の大村支部例会の場所はどこで何時ですか？
(本澤さん) パークベルズで18時半から21時までです。

・(寺尾さん) 1月長崎出島支部例会の感想です。前回も下釜さんの報告聞きましたが、内容が変わり非常によかったです。印象的なのが36年間一度も退職者が出ていないことです。下釜さんが社員は家族と考えることで同じ方向を向けて、頑張れるのではないのでしょうか。また障がい者雇用のカイト君もいなくてはならない戦力になっていること、もう一人の虹の原の卒業生も活躍しています。また松山のフェローシステムの方とグループディスカッションをしたのですが、社員さんのグループディスカッションの対応力がすごくびっくりして刺激を受けました。

(中村代表) 参加していただきありがとうございます。たくさんの方に参加いただき、愛媛からも7名参加いただきました。愛媛の7名のうち3名は同友会の会員さんです。同友会愛がすごい会社で以前からお付き合いがありました。下釜さんの話も内容が濃く、経営体験報告と障がい者雇用の話で前回より深い話ことができました。例会終わっていろんなところから声かかるよと下釜さんに伝えたら、本人燃え尽きています。でも声がかかるということはいいことなので、顔を合わすたびにお誘いください。

(飯田さん) フェローシステムの方が積極的に発言され、グループディスカッションが非常にすすめやすかったです。

・(梶原委員長) 3月の委員会は現・新委員会で対面にておつかれさまとよろしく申し上げますという会をしたいのですがいかがでしょうか？できれば大村で開催したいと思います。

では、3月27日の委員会は大村で現・新で委員会をやります。

・梶原委員長より活動方針(案)の説明。現委員長・来期委員長に活動報告と活動方針(案)の提出依頼

9. 事務局より

・2/14・15 中同協障害者問題委員会と2/14 中同協女性部連絡会の案内

10. 決議事項

※本文中の黄色のマークが決議事項

11. 閉会宣言（梶原指名）

おつかれさまでした。先日の長崎出島支部例会は参加できなかったのですが、素晴らしい例会だったと聞いています。ぜひ諫早にお越しいただきたいです。また今日は長崎大学の山口先生にラジオに出ていただき、住みよい社会をつくるためにはというテーマで話をしていただきました。少数派の方が住みよい社会になると世界がよくなると学びました。みなさんでよりよい社会をつくりましょう。

次回開催予定 2月 27日（月）